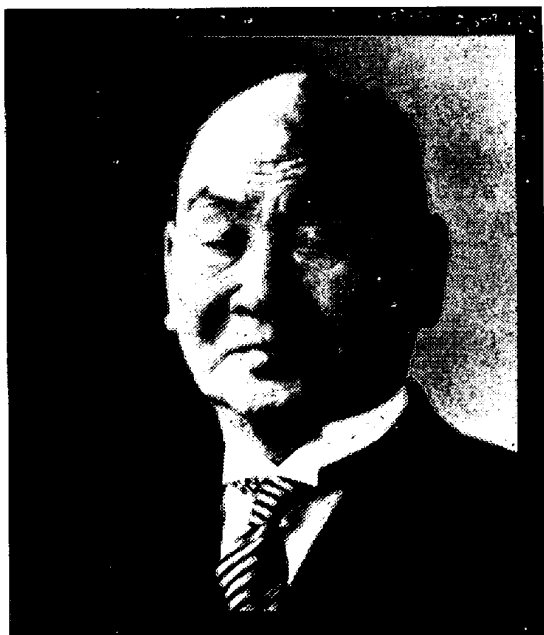


## 追 悼 名 譽 会 員 石 原 米 太 郎 君

石原米太郎君は昭和 36 年 5 月 6 日、78 才の高齢をもって逝去せられ、5 月 9 日東京都港区青山斎場において葬儀が執り行われましたが、会長は本会を代表して弔辞を捧げました。ここに同君の冥福を祈り、つつしみて哀悼の意を表します。



### 弔 辞

日本鉄鋼協会名誉会員石原米太郎君急逝の報に接し、洵に痛惜の念に堪えず謹んで哀悼の意を表するものであります。

君は明治 37 年官営八幡製鉄所に入所し、わが国において初めて特殊鋼の研究、工業的生産に従事して以来 50 余年間終始一貫特殊鋼の製造および事業経営の第一線にあつて活躍せられ、一方日本鉄鋼連盟理事、科学技術庁参与等数多くの公職、団体役員を歴任されたのであります。これ等わが国産業の為め尽された永年の功績に対し昭和 28 年には緑綬褒賞を、昭和 34 年には藍綬褒賞を授けられましたことはまことに故ありと申すべきであります。本協会に対しましては評議員として多年に亘りその事業運営のために格段の御尽力を賜りましたが、特に昭和 32 年には「鑄型押湯の電弧加熱による造塊作業の改良」外五件の発明特許の実施につき八幡製鉄株式会社から贈られた 1000 万円を挙げて本協会に寄贈せられました。これは今日石原研究資金として鉄鋼の試験、研究推進のために多大の貢献をなしておるものでありまして会員一同の感激措く能わざるものであります。

今やわが国特殊鋼業界の振興が強く要望せられ、君の指導を待望するの秋、突如病を得て永眠せられ幽明境を異にして再び君と語るができなくなりましたことは洵に哀惜に堪えない次第であります。

茲に日本鉄鋼協会を代表し、君の遺された幾多の業績に対し深甚の敬意を表し謹しみて冥福を祈ります。

昭和 36 年 5 月 9 日

社団法人 日本鉄鋼協会会長 浅 田 長 平